

# 胸部X線を読み解く会(通算第26回)のご案内

疾患は正常を基盤として展開する。正常構造の概念化でのみ、疾患が引き起こす変化と機序が考察可能となる。

Mr. Chestとは、胸部X線画像の**概念**

伊藤春海

## RAP-C

### Radiologic Anatomic Pathologic - Correlation

放射線医学(R)・解剖学(A)・病理学(P)の情報を比較・検討し、個々の事象の気づきを積み重ね、新しい総論・新しい課題を導くCorrelationという作業を通して、螺旋状の進化を実現すること。

#### <第一胸椎>

- > 脊椎の生理的湾曲と撮影体位の前傾により、椎体・椎間板は描出されない。
- > 椎弓と椎弓板間隙がコントラストを得て横突起の両端が跳ね上がりW字様形態を得る。



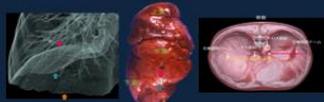
#### <左肺動脈>

- > 左肺動脈は、左主気管支を腹側から頭側に乗り越え、左上葉気管支の背側を通り、左下葉気管支の外側に沿って尾側に向かう。



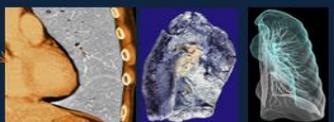
#### <右肺下縁のコントラスト>

- > 右肺下縁は頭側から、①横隔膜ドーム、②肺下縁腹側、③肺下縁背側の3つのコントラストを持つ。
- > 右の腹側肺下縁内側は中葉がコントラストを作る。



#### <左心陰影>

- > 左心陰影は、上葉でコントラストを得る。
- > 左心影に重なる肺血管影は下葉血管である。



日時 2025年 11月 29日 (土) 13:30~16:00

会場 済生会熊本病院 教育研修センター7階 Apice(アピス)

テーマ 肺末梢部の形態と病変について

※「肺標本の展示」や「シャウカステンを用いての解説」なども予定しております。

講師 福井大学名誉教授  
岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授  
伊藤 春海 先生

参加費 医療従事者:3,000円/医学生:無料

申込QRコード 【医療従事者 専用】

※Peatix(イベント管理ツール)よりお申込、参加費のお振込をお願いいたします。



締切 11月24日(月)

【医学生・学生】 病院ホームページよりお申し込みください。

#### 【前回の参加者アンケートより】

- ・実際にシャウカステンでX線を見てみると、電子カルテ上で見る画像とは違った見え方がし、新たな気づきがありました。
- ・胸部単純X線写真やCT画像における異常所見について、解剖学的・病理学的な意味を分かりやすく教えていただきました。
- ・肺の基本構造を理解することの重要性和、このような講座を通じて教科書には載っていない知識を得ることの大切さを実感しました。

